

令和3年3月吉日

第74回卒業生 保護者の皆さまへ

本日は、お子様のご卒業、誠にめでたうございます。本日、晴天に恵まれまして、無事に卒業証書授与式を挙行し、3年生一人ひとりに卒業証書を授与できましたことに関しまして、大変嬉しく感じております。本日の式はいかがでしたでしょうか。この災禍の中では、本校の体育館で保護者の方々の席を準備して式を実施する事は困難であり、場所を変えての式となりましたことを、お許しいただければと存じます。

例年、生徒たちは、式自体が本校体育館ということもあり、2月の中旬から授与の練習、合唱練習、そして総練習を繰り返しながら当日を迎えておりました。しかし、今回は、本番の式をイメージすることが難しい中で、練習自体は行っていたものの、ぶっつけ本番のような形となりました。教職員も同様で、下見や打合せを繰り返して行いましたが、本日の式の開始まで、あらゆる事が手探りの状態であり、緊張の中で迎えた本日、3月6日でした。

それでも、ゼビオアリーナ様の御厚意で、昨日、急遽、午後3時過ぎから会場準備ができるようになり、全員で夜遅くまで、会場設営を行いました。地域の方々の温かいご支援、ゼビオアリーナ様からの温かいお声掛けで、本日の式を無事終了することができました。

そして、何より、卒業生の式に臨む態度が素晴らしく、私自身、とても感動しました。小学6年生を終えての4月の予備登校の時から彼らの姿を見ていただけに、その成長ぶりは目を見張るものがあり、感慨無量です。堂々とした立ち姿、話を聞く態度、返事、そして卒業の合唱……。とても立派で誇らしく思いました。この子達が長町中学校からいなくなってしまう事を、とても寂しく感じます。

このコロナ禍は、生徒にとって楽しい日々ではなかったと思います。不安や緊張、あきらめもあったことと思います。しかし、彼らは本当にしっかりと最後の年の中学校生活を送ってくれました。とても健気で、ずっと学校にいてほしいと思いました。

たまに校長室をノックして「校長先生、お元気ですか?」「先生、しばらく見ませんでしたけど、元気でしたか?」と声を掛けてくれる生徒もおりました。可愛い生徒達でした。この出会いは私にとって、生徒と教師、生徒と校長という関係だけではなく、とても貴重で、喜び溢れる出会いでした。教員生活の終盤に、このような素晴らしき出会いに恵まれたことを、保護者の皆さまに深く感謝申し上げます。

保護者の皆さまには、この3年間、大変お世話になりました。特にこの1年のコロナ禍におきましては、皆様の援助がなければ乗り越えられなかったと実感しております。学校運営に関しても、静かに見守っていただき、時には私たちの健康状態までご心配いただきましたことは、とても心強く感じておりました。

この4月から仙台を離れられるご家庭もあると聞いております。どうぞ皆様お元気で、仙台で過ごした日々、長町中学校でお子様と過ごした日々を忘れずにいていただけると幸いです。

3年間の日々、私にとって赤学年の生徒達は、とても可愛い、世代の違う友であり、年の離れた仲間のように思っておりました。一緒に歩いてここまでたどりつけました。心にぽっかりと穴が空いたような気持ちです。幸せな3年間でした。これまで保護者の皆様にいただきました御厚意に深く、深く感謝し、皆様との出会い、生徒たちとの出会いを忘れる事なく、これからの人生を歩んでいきたいと思っております。

令和2年度卒業生に幸多き事を切に願い、お別れとさせていただきます。保護者の皆様、どうぞお元気でお過ごしください。これまで本当に有り難うございました 長町中学校 今野 隆